



CTFの活動 この1年

あと1ヵ月足らずで今年も終わります、皆様の平成19年はどんな年だったでしょうか？

この夏の猛暑はまだ記憶に新しいところですが、石川県や新潟県では震度6強の地震が相次いで発生しましたし、海外でもソロモン島地震やハリケーン、サイクロンなど、全地球的に異常気象とされています。やはり地球温暖化の影響かと、私たち一人一人が環境問題を今一度考えなおす必要があるように思えます。

自然界から人間社会に目を転じると、この1年は“偽装”で始まり“偽装”で終わったと言えます。不二家、白い恋人、赤福餅、さらに牛肉偽装から鶏肉偽装まであり、まさに『モー・ケッコウ』と言いたくなります。人間とは何なのか・どうあるべきか、など難しいことはよくわかりませんが、人と人の信頼関係を最重要視した昔からの社会規範に立ち返り、性善説で物事が進められる住みよい社会となるようお願い、努力したいと思います。

さて、1年締めくくりの12月、NPO法人CTF松阪のこの1年間の活動実績をまとめてみました。

(下表は、2006年12月から2007年11月までの1年間の実績です)

障害者向けパソコン講座開催 3コース 11日間 受講者 27名	障害者団体等 IT 支援	2回
障害者対象個人向けパソコン講座開催 43回 受講者延 327名	IT 関連事業受託 (意思伝達装置使用サポート、ホームページ編集ほか)	4件
ワーク会員スキルアップ研修会 35回 受講者延 35名	会報 (CTF 通信) 発行	12回
障害者宅訪問 IT サポート 49回		



通じないなあ

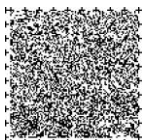
ご近所に94歳のおばあさんが住んでおられる。彼女は身辺自立、聞き分けもよく、手のかからないかくしゃくとした老人である。その彼女はいつも敬老の日が近づくと不機嫌になり、いつにない言葉が出る。息子夫婦はどうしたことかと怪訝な顔つき。やがてそのわけがわかった。

敬老の日には町でお祝いの集まりがある。町役場の若い職員は老人達をマイクロバスで送迎する。青年は威勢よく「おばあさん、お迎えに参りました」といって玄関から入ってくる。その言葉がいけなかったのだ。

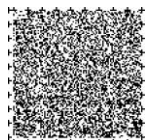
このエピソードを女子大生に紹介したところ、全員きょんととして反応がなかった。青年の言ったことばの意味がわからなかったのだ。

言葉の使い方の難しさがしみじみとわかった

MW



今月号は文字数が多いので、1ページと2ページ、4ページにSPコードを2個ずつ付けてあります。1ページと2ページ、4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。





4. URL で使えない文字

URL は ASCII コードを使って記述していますが「スペース」「~」「#」などの記号は使えません。
<http://ctf.dip.jp/%82c%82t%82f%8F%BC%8D%E3/> のような URL の記述を見たことがあるのではないのでしょうか。これは使えない記号等を別の文字に置き換えているのです。置き換える規則は、置き換えたい文字の ASCII コードを 2 ケタの 16 進数で求め「%」の直後にその値を記述するのです。例えば「~」（チルダ）の ASCII コードは 7EH なので URL に使う場合は「%7E」と書きます。「~」は UNIX システムでユーザーのホーム・ディレクトリを表す接頭文字として使うことが多く、個人ユーザーのホームページの URL としても <http://ctf.dip.jp/~matsu/test.html> のように表記しますが、RFC に従って記述するならば <http://ctf.dip.jp/%7Ematsu/test.html> と記述するのが正規の表記方法です。なのに「~」が使えるのは Internet Explorer や Netscape Navigator などの Web ブラウザが自動的に変換してくれているからなのです。

一方、「&」「/」「:」のように URL を記述する際の区切りなどに使っている文字(予約文字)を別の部分(例えばファイル名)に使う場合は ASCII コードに変換して記述します。変換しておかないと Web ブラウザや Web サーバーが URL の区切り文字として扱ってしまう可能性があるからです。変換された「%xx」のような文字を受信した Web サーバーは逆に ASCII コードから本来の文字へ戻してから実際のリクエストを処理します。

利用不可能な文字				予約文字(通常は変換が必要)			
文字	代替文字	文字	代替文字	文字	代替文字	文字	代替文字
スペース	%20]	%5D	!	%21	.	%2E
“	%22	^	%5E	\$	%24	/	%2F
#	%23	{	%7B	&	%26	:	%3A
%	%25		%7C	(%28	:	%3B
Esc	%27	}	%7D)	%29	?	%3F
<	%3C	~	%7E	*	%2A	@	%40
>	%3E			+	%2B	=	%3D
[%5B			,	%2C	_	%5F
¥	%5C			-	%2D	`	%60

URL に使えない文字または使う場合には注意が必要な文字と表記するために用いる代替文字の一覧表。「%」の後ろに 16 進数の ASCII コードを記述することで利用不可能な文字を置き換える。

つづく



活動報告

【11月】

障害者対象個人向けパソコン講座
(6日、13日、20日、27日)
障害者宅訪問 IT サポート
(14日2件、21日)

活動予定

【12月】

障害者対象個人向けパソコン講座
4日、11日、18日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



おばあちゃんの手作り料理・お菓子

じゃがおやき

材料

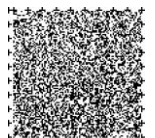
じゃがいも…………… 300g
薄力粉…………… 100g
コーン…………… 60g
塩…………… 小さじ2分の1
ハム(好みで)…………… 2~3枚

作り方

- ① じゃがいもは洗って、軽く水気をきり、ラップに包んで、電子レンジで約6分間加熱する
- ② ①の皮をむいてつぶし、荒熱が取れたら、薄力粉と塩を加えて練り、15等分して丸める
- ③ ハムは、1センチ角に切ってコーンと混ぜ合わせ、大さじ1杯くらいの量を②で包み円盤の形にする
- ④ フライパンにバターを溶かし、③を並べて中火で両面を焼き色がつくまで、こんがり焼く



今月のレシピは、料理がお得意の脇田利子様から提供していただきました。



ある日の出来事

暑い夏の日、私は昼から仕事の友達と喫茶店で語っていました。

ふと窓の外を見ると、三重高通りで、袋を持ち右手にはチリバサミを持ってゴミを捨て見える婦人が、目に入ってきました。

それからしばらく友と語って自転車で三重高通りを家に向って走っていると、又ゴミを捨て見える方に会いました。あれからずっと捨ててくださったのかと思ひびっくりして、さっき喫茶店の窓からお見かけしたことを話すと「その方は私ではありません。あの辺りは、別の方が拾って見えます。私は、この辺から42号の方を拾っています」との事。私はまたまたびっくり。この暑いのに何とゴミ拾いをして下さっている方が2人も見えるとは。その方は帽子をかぶって日焼けした顔がなんとも優しく笑顔で輝いていました。私は「月に何回ぐらい拾って見えるんですか」と聞くと「孫の都合とかで特別な事がない限り殆ど毎日です」と言われました。質問をした私の方が恥かしくなる気がしました。「凄いですね、素晴らしいですね」と言うとなんと返ってきた言葉が「そう思われるあなたの方が素晴らしいです」だったのです。またまたびっくりし凄く感動しました。

それからというもの同じ三重高通りで、他にも毎日ゴミを捨て見える方がいる事も知りました。他の道でもゴミ拾いをしている方をお見かけすることがあります。

私には、とてもできない事だけど、別のかたちで何か私に出来そうな事があれば、大いにしていきたいなと思います。そして私の周りにはいるたくさんの方々にあらためて感謝です。



編集後記

1年たつのは、早いですね。
この1年間、パソコンを通じて多くの仲間たちと出会え、スタッフ一同喜んでいきます。1年間ありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。



CTF 通信第57号

2007年(平成19年)12月発行
発行者 ITを活用した障害者支援NPO法人
CTF 松阪
発行責任者 川 口 保 美
住 所 〒515-0081
松阪市本町 2181-1
電 話 0598-21-7268
U R L <http://ctf.dip.jp/>

